

落語家・天台宗僧侶

つゆのまるこ
露の団姫



☆プロフィール☆

上方落語協会所属の落語家。

兵庫県尼崎市在住。高座の他にもテレビ・ラジオで活動中。

小さい頃からの「死」に対する恐怖をきっかけに仏教を学びはじめ、高校在学中に人生指針となる法華經に出会う。

落語家になるか尼さんになるか悩む中、落語の創始者、初代・露の五郎兵衛が僧侶であり、説法をおもしろおかしく話したことが落語の起源と知る。

高校卒業を機に初代・露の五郎兵衛の流れを組む露の団四郎へ入門。3年間の内弟子修行を経て、主に古典落語・自作の仏教落語に取り組んでいる。

2011年、天台宗で得度。2012年、比叡山で四度加行を受け正式な天台僧となる。

2020年、兵庫県尼崎市に「道心寺」を開山。

年間250席以上の高座と仏教のPRを両立し全国を奔走する異色の落語家。

好きな言葉は「一隅を照らす」（伝教大師・最澄上人）。

主な受賞歴

2011年11月 第6回・繁昌亭輝き賞（新人賞）過去最年少受賞

2017年 1月 第54回・なにわ藝術祭落語部門新人賞受賞

主な出演

テレビ朝日『ぶっちゃけ寺』、朝日放送『おはよう朝日～土曜日です～』

NHK『あほやねん！すきやねん！』、NHK『落語でブッダ』

日本テレビ『ラブぎゃっぷる』、OBC『露の団姫のまんまるサンデー』等多数

主な著書

『プロの尼さん』（新潮社）、『女らしくなく、男らしくなく、自分らしく生きる』（春秋社）

『団姫流 お釈迦さま物語』（春秋社）、『人生が100倍オモシロくなる仏の教え』（樫出版）

『仏教いろは寄席』（佼成出版社）、『聖の尼さん』（春秋社）等